

「雌判別精液」を用いた人工授精で 10 頭目の雌子牛が誕生

当センターでは、平成 21 年度から、人工授精に 90%以上の確率で雌牛が生まれる「雌判別精液※」を使用しています。

6 月 14 日には、「雌判別精液」による 10 頭目の子牛が誕生しました。現在まで、全て雌子牛が産まれており、今年度中には更に 7 頭の雌が生まれる予定です。

今後は、「雌判別精液」を授精した受精卵の移植も行うなど、酪農家で産まれる子牛がすべて雌になるようさらに試験を進めて行きます。

※雌判別精液：精液を蛍光染料で染色し、X染色体の方が大きくわずかに強く蛍光を発する性質を利用して雌精子を分離したもの。



雌判別精液で生まれた 10 頭目の雌子牛「アイリッシュ」